



はちろうがた 2012年3月定例会 第111号

議会だより

発行：八郎潟町議会

編集：議会広報編集委員会

〒018-1692 秋田県南秋田郡八郎潟町字大道80

☎ 018-875-5810



長期に渡った除雪作業

- ◆ 2～3ページ 当初予算
- ◆ 4～8ページ 一般質問
- ◆ 9ページ 議案・補正予算
- ◆ 10ページ 各常任委員会の審議・臨時議会
- ◆ 11ページ 広域組合報告・議員表彰・議員発議
- ◆ 12～15ページ … 議会改革特別委員会報告
- ◆ 16ページ … 請願・陳情／議会のうごき



24億8,600万6千円
20億4,034万3千円

を可決

地域農業マスタープラン作成
に着手
集落毎の地域農業の将来図をまとめる
集排を廃止し公共に接続
小池・浦大町農業集落排水を廃止し、
公共下水道に切り替え

3月定例会は、3月6日から16日までの11日間にわたり開かれました。一般質問5名、審議した議案などは、補正予算関係8件、条例改正など8件、当初予算関係9件、人事関係2件、議員発議2件などでいずれも原案通り可決されました。なお、報告1件であります。

無料化実施

一般会計

科目 \ 区分	予算額	構成比(%)	前年度比	
自主財源	町税	481,048	19.3	△3,571
	繰入金	74,018	3.0	23,293
	使用料及び手数料	48,736	2.0	△1,712
	分担金及び負担金	16,695	0.7	△2,341
	財産収入	2,220	0.1	286
	諸収入	38,710	1.5	△2,288
	繰越金	9,559	0.4	△834
	寄附金	3	0.0	0
計	670,989	27.0	12,833	
依存財源	地方譲与税	21,000	0.9	△1,000
	利子割交付金	900	0.0	0
	配当割交付金	300	0.0	0
	株式等譲渡所得割交付金	120	0.0	△10
	地方消費税交付金	54,000	2.2	△1,000
	自動車取得税交付金	3,500	0.1	△600
	地方特例交付金	7,000	0.3	△3,200
	普通交付税	1,120,000	45.1	20,000
	特別交付税	110,000	4.4	10,000
	交通安全対策特別交付金	700	0.0	0
	国庫支出金	185,654	7.5	△22,293
	県支出金	161,843	6.5	△32,398
	臨時財政対策債	150,000	6.0	△20,000
その他の町債	0	0.0	0	
計	1,815,017	73.0	△50,501	
合計	2,486,006	100.0	△37,668	

区分	予算額	構成比(%)	前年度比
議会費	58,204	2.3	△16,192
総務費	317,507	12.8	5,040
民生費	610,573	24.6	11,370
衛生費	324,976	13.1	△9,669
労働費	6,298	0.2	△4,090
農林水産業費	91,365	3.7	△26,976
商工費	28,752	1.2	1,555
土木費	307,514	12.4	15,407
消防費	155,386	6.2	297
教育費	251,238	10.1	23,848
公債費	331,187	13.3	△38,258
その他	3,006	0.1	0
合計	2,486,006	100.0	△37,668

特別会計

会計別	予算額	前年度比 (%)
国民健康保険特別会計	688,109	△6.9
後期高齢者医療特別会計	62,340	14.3
公共下水道事業特別会計	346,968	17.2
農業集落排水事業特別会計	29,891	5.3
介護保険特別会計		
(保険事業勘定)	681,251	5.0
(介護サービス事業勘定)	1,929	△2.5

企業会計

会計別	予算額	前年度比 (%)
・収益的収入	146,522	△1.2
・収益的支出	142,132	10.0
・資本的収入	16,000	100.0
・資本的支出	87,723	24.4

平成24年度 一般会計 特別会計・企業会計

子育てを支援〰〰〰 学校給食完全

主な事業（一般会計）

(単位：千円)

事業	予算額	説明
庁舎耐震診断業務	4,981	役場庁舎の耐震診断
地域子育て推進事業	849	父親グループによる地域の子ども子育て支援
子ども手当支給事業	74,941	中学校までの児童を対象に支給
不妊治療費助成事業	450	経済的な負担軽減のため治療費の一部助成
農地利用集積促進奨励金	1,000	認定農業者への農地の集積促進
人・農地プラン作成事業 (地域農業マスタープラン)	469	地域中心の経営体の決定 農地の集積等、地域農業のあり方プラン作成
社会資本整備総合交付金事業	90,898	町道石川線・秋田八郎潟線・中羽立線ほか4路線や除雪関係など
町営住宅長寿命化修繕計画策定	816	住宅マスタープラン見直し、長寿命化修繕計画策定
都市計画マスタープラン策定	8,000	都市計画区域マスタープランと並行し策定
学校給食費助成事業	23,776	町内外の小中学校在籍者で町内に住所を有する児童・生徒の保護者に対し子育て支援（無料化）
メール配信システム導入事業	138	不審者や災害等の緊急連絡、学校行事等で瞬時に連絡できるシステム（幼・小・中）
住民に光をそそぐ交付金事業	11,916	地域福祉協力員設置人材育成事業 高齢者体力向上活動対策員育成事業 運動指導員 地域力向上事業 地域防災力強化のため講演会等開催
少子化対策包括交付金事業	5,300	結婚祝い金事業 10万円交付 八郎潟de愛サポート事業 婚活イベント助成 まちづくりイベント事業 おもしろ市場・若者イベント 幼稚園預かり保育事業 保育時間午後6時まで延長 その他事業
緊急雇用創出事業交付金活用事業	8,220	雇用対策事業（高岳山麓浦城整備他） 観光PR促進事業 専任職員の雇用対策 図書館機能整備事業 司書の配置 図書機能の向上

一般質問

24年度の予算編成の重点的な施策は



金 一義 議員

問 昨年12月議会でも24年度の予算編成と町政の基本姿勢を問うておりますが、町長も任期最後の予算編成です、各項目の分野でどのような視点で町民の負託に応える予算となったかお答え下さい。

町長 福祉「八郎潟de愛サポート事業補助」町道の整備、時代の流れにそった農業、安全安心な社会、少子化対策、今年度より新設した児童の学校給食の補助事業費23,776千円等に主眼をおいた。

県が支援する八郎潟町の活性化対策の構想は

問 昨年12月議会で、県が24年度より5カ年計画で取り組む地域活性化対策での本町の考え方を質問しました。その時点で答弁では、県としても12月にプログラムができ

24年度の素案ができる。今後県との整合性を考えるとありますが、県予算50億に対する本町としての活性化対策にはどのようなプログラムの計画ができたかお示しください。
町長 まだ計画していません、これからプログラムを、町民、JA、民間等でオーダメイドに作る今後長いスパンで計画する。必ずしも5カ年での事業でない。

子どもの医療費助成での町独自の大幅拡充の考え方は

問 24年度より、重点施策として県は少子化対策を見据え、子どもの医療費助成の大幅拡充を柱とし、現在未就学児に限定していた医療費助成の対象を小学6年生まで広げるとしておりますが、本町独自の少子化対策として医療費助成を中学生、高校3年生までの大幅拡充をはかっているかどうか。

町長 現在の在籍は小学生301人、中学生144人、高校生の在籍186人となり、「中、高校



生」を無料化した場合、926万円の財源が必要であり、今後この予算を検討する。

県が今年度新設の「観光文化スポーツ部」の事業に八郎潟町の取り組みは

問 この目的には観光振興に向けて文化、スポーツ、物産や交通政策を統合した「観光文化スポーツ部」を新設し、各分野の相乗効果を発揮し誘客を目指すとあります。こ

の新しい県の事業に町の取組の考えを示せ。

町長 町の「願人踊り」を平成26年度に秋田県で開催される国民文化祭に出演してもらおう。

町道一級天道田梨ノ木線に防風雪柵の設置を

問 さてこの沿線は毎年風雪による吹きだまりに困りはてています。今年も、2月11日の吹きだまりにより5台の車が雪に

突っ込み大騒ぎになりました。浦大町地域に緊急事態が発生した場合のことを考慮にいたれたいとして、この場所に防風雪柵の設置を検討する必要がありますが考えをお示しください。
町長 農地の関係者と話し合い、計画的に着手したい。広域農道湖東線にも防風柵の設置も検討されている。

23年産地資金(大豆団地)における交付金の返還について

問 交付金の過払い分の返還について町より示されましたが、その理由を詳しくご説明ください。

町長 事務上のミスから栽培面積の算定を誤る、本来の交付対象は77件で面積は126.7haである、このうちの7農家と2法人の8.8haが算定からまれ、220万円が交付されなかった。23年度は本町に3,170万円が割り当てられ10a当たりの産地交付金額は25,026円である。

一般質問

大規模災害時の避難路のマニュアルを



北嶋 賢子
議員



(イ) 船越沖が震源地となった時、馬場目川を遡上する津波への備えは。震災のシミュレーションは、馬場目川を5・5km

のぼり、八郎潟町の街部は水没とのこと、早急に対策を練る必要があると思うが。

町長 秋田県新年度予算の中で東日本大震災を踏まえ地震被害想定調査が4月から12月を日程に行われる。ハザードマップに必要なデータの提供を待つて対策を検討する。

(ロ) 幼稚園、保育園、小学校、中学校、こども達の避難先は。

問 東日本大震災、津波で多くの犠牲者を出した石巻市の大川小学校。こども達が学校に居た事で父母は安心していただけ。今回の様な津波が発生したとしたら幼稚園は、小学校、中学校は如何に

教育長 幼稚園は、地上高4・4m、海抜7・4mの防災センター2階ベランダ。屋上までとする。海抜11・6m。小学校は地上高8・5m、海抜11・3m屋上へ。中学校は地上高9・1m、海抜11・5mの3階としています。想定以上になつた場合は町内の高台に誘導する。小・中と園には、この事を念頭に入れた避

難訓練を実施するよう指示している。

子育て支援についで

(イ) 学校給食と食材の放射能測定器の購入について

問 学校給食の地場産の食材が端境期に入ります。この後は、放射線量の心配のある北関東産の野菜が多くなります。検査機器が高額なら、五城目町、井川町、3町共同で補助を活用し購入を。

町長 市町村は放射能の検査機器の補助は対象外。県が6台検査機器を導入。4月から各市町村に月2回の検査日を割り当て食材の安全確保を図る。

(ロ) こどもの医療費の無料化を中学卒業まで。

問 これまで、こども手当は学校給食費とこどもの医療費にあてるようにと提言して来た。山梨県早川町のように医療費は中学卒業まで、給食費等義務教育費も無料にする自治体もあるが。

町長 今回の拡充による増額330万円と中学ま

で拡充した場合の増額256万円を合わせると586万円の増額が見込まれる。今後町独自の助成について検討する。

必修科目となつた柔道の安全性について

問 体育の時間、柔道が必修科目となると、それなりの指導者が必要となります。全国的に柔道の事故が多く、車イスになる等、深刻な事例もあり、体育の教師全員が黒帯を持つているとは思えません。八郎潟中学校には立派な武道場があり、柔道部にも歴史があります。現在、黒帯を持った体育教師がいるかどうか。

教育長 24年度から、中学校の新学期指導要領から本町中学校は柔道を選択する。在籍の体育教師は、柔道の有段者であり、体育教師を対象とした武道講習会にも参加している。安全面には、充分留意して指導にあたる。

一般質問

姉妹都市提携について



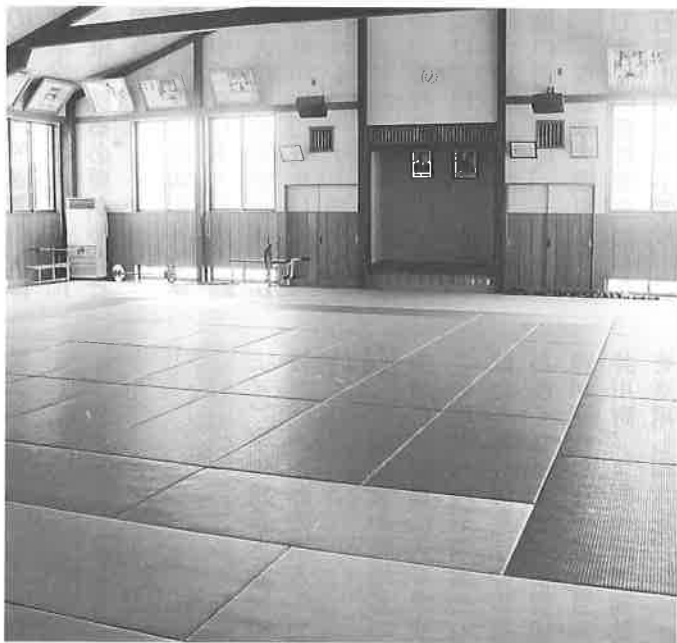
菊地 文人
議員

問 H23年3月に「あきた国際化戦略」計画が策定されている。現在県及び県内市町村では、海外23地域（都市）と姉妹都市・友好交流提携を結んでいる。県は行政・経済・学術・文化・教育・スポーツ・観光・医療福祉など市民レベルでの交流へ充実させ、地域活力創造につなげていく考えだ。さらに新たな交流の展開に向けて、交流内容の検討、相手方との交渉などのサポートを行ったリ、県と市町村におけるターゲットが重なる地域との交流については、関係市町村との合同訪問団の派遣や各種交流事業の共同企画・実施など県と市町村が連携・協働しながら、より効果的な交流の推進に努める事になっている。本町においても過去に姉妹都市提携の機運があったかも知れない。急速な国際化と共に価値

観が多様化し、ライフスタイルが変化する今日において、地域活性化を図る観点から、県が「多様な国際交流」を推し進めている今、交流事業の内容、相手都市の望ましい条件、相手都市候補についてなど検討する協議会を立ち上げるべきでは。
町長 過去に都市提携の話があったとは聞いていないが、相手都市候補の話があれば協議会などの設置を検討したい。

武道必修化について

問 心身共に成長する時期であるし、日本の武道に触れ、その精神を学ぶことは良しとする。だが問題は、体育教師が大学時代に武道を履修していない、柔道の経験がないなど慣れない指導は負担も重く、生徒への目も届きにくいなど指導力・指導者不足が懸念される。受け身など基本に重点を置き、成長期の中学生は体格差が大きく、経験や技能の差もある。学校はそのような点にも十分考



中学校の柔道場

慮して指導計画をつくり、授業を進めていくことが大切になるのでは。本町中学校での事故防止安全対策と指導計画を示してもらいたい。

中小企業振興融資制度について

問 中小企業支援策として融資制度の保証料を全額負担する中小企業融資斡旋制度、略称（マル八）があるが、設備・運転資金の借入限度額が700万円。県内25市町村中で700万円以下は本町を含め3件だがその理由は。
町長 借入実績をみても、限度額一杯の借入額がなかったの引き上げでこ

問 従業員数20名以下（商業・サービス業の場合は5名以下）で、既存の保証付借入残高と新しい借入金額の合計が、1,250万円以内となる小規模企業の方が対象となる、「小規模企業向けの資金」が県内20市町村で実施されているが本町にこの制度はなし。もし本町にあれば、（マル八小口）の略称となると思われるが、借入金利が2・25%に対し（マル八）制度が2・45%であるため小口の金利が安い。県内20町村で実施されているが、平成18年時点で秋田県信用保証協会からの呼びかけに本町は申請しなかったという。また町独自の支援策として、借入利率の利子補給制度の考えは。
町長 セイフティネット保証制度があり、利率は2・25%。本町の中小企業のほとんどが併用しており、申請しなかったと考えられる。今後は金融機関と協議しながら検討していきたい。利子補給制度の考えは現時点ではなし。

一般質問

24年度重点政策について



伊藤 秋雄
議員



問 新規事業、八郎潟de愛サポート、小中学校の給食費無料化、不妊治療費支援の事業は。

町長 八郎潟de愛サポート事業は、町の個人・団体民間事業者の開催するイベントに補助。学校給食費の無料化は保護者の経済的負担を軽減する。

県の不妊治療費助成は限度額20万円で、限度額を超えた分が上乘せし出生数の増加を図る。

問 再生可能エネルギー導入により、庁舎や小中学校など公共施設への太陽光パネルや蓄電池など太陽光を利用したハイブリット街路灯、LED照明など公共施設482ヶ所に設置の予定。県にどんな要望を。

町長 プロジェクトの内容によって交付される。

問 二〇一四年本県で「国民文化祭」が開催。

本町では秋田県指定無形文化財「願人踊り」「一日市盆踊り」また浦城にまつわる「とら子物語」などの取り組みは。

町長 「願人踊り」のツールについて研究者や保護団体によるシンポジウムを計画。国の重要指定無形文化財にするために全国に八郎潟町を発信していく。

問 町長の報酬63万円、副町長53万円、教育長48万6千円、議員は報酬を削減、費用弁償や日当も廃止。町長など三役の報酬削減は。

町長 八郎潟町特別職報酬等審議会の答申を尊重する。

高齢者・弱者対策について

問 少子化・高齢化対策では行政と住民を巻き込んだ抜本的な対策が必要と思うが。

町長 対話を通し、共に手を携え地域で支えあう町づくりを考える。買い物などの対応についても

早期に取り組んでいきたい。

問 「高齢者の独り暮らし、二人暮らし、障害者、母子家庭」などを対象とした除雪支援事業。除雪業者の紹介。所得に応じた除雪費の補助は。

町長 弱者・低所得者に対する除排雪支援事業の導入を今後検討する。

本町の空き家対策は

問 本町では空き家が159軒、所有者不明12軒、空き家等適正管理条例、危険家屋の撤去を支援する制度の検討は。

町長 実態を把握し、地域の安全・安心と自主防災の観点から検討を加え条例の制定や危険家屋の撤去支援などできることから進める。

問 八郎湖の水質改善などの要望が一過性のものではなく国・県への継続した支援要請活動、今までどんな働きをしたか。

町長 合併浄化槽の普及未接続世帯の対応を県に要望しておく。馬場目川の浚渫につい

ては強く要望しています。

問 人口減に歯止めをかける「企業誘致による職場の確保」「高校卒業生の地元企業へのあっせん」「若年層への安価な宅地供給」とあるがどのような働きをしてきたか。

町長 長引く景気の低迷で成果が出ない。県の工業団地も埋まっていない。八郎潟・五城目・井川の三町連絡協議会でできるものは対応している。

問 町外からの観光客を呼び込み、拠点となる施設、盆踊り会館や町の伝説を語る場、郷土料理を楽しむ多目的センターのような施設は。

町長 いろいろ考えているが方向性が見えない。

畠山町長二期目に向かつて意思表明は

問 9月23日任期満了になる畠山町長の2期目の意志表明は。

町長 今後行われる予定の後援会役員会の中で協議していく。

一般質問

除雪対策問題で 今年度に見えてきた課題は



畠山 金美
議員

問 断続的に降り続いた積雪は、近年における除雪対策に一層の問題提起を行政につきつけることになったのではないかと、そこで

◎高齢者からあった依頼内容は、

◎小型除雪機稼動の問題点は

◎狭い路地裏での排雪への今後への対応策は

◎全町各地で除排雪問題に、現状の説明と、できるできない、今後の予定等をして、

◎地域活性化助成金に、除雪費対策として、

◎町長 依頼では、屋根の雪下ろしと、落雪による出入り口付近の除雪であった。

◎町長 依頼では、屋根の雪下ろしと、落雪による出入り口付近の除雪であった。

◎町長 依頼では、屋根の雪下ろしと、落雪による出入り口付近の除雪であった。

◎町長 依頼では、屋根の雪下ろしと、落雪による出入り口付近の除雪であった。

◎町長 依頼では、屋根の雪下ろしと、落雪による出入り口付近の除雪であった。

◎町長 依頼では、屋根の雪下ろしと、落雪による出入り口付近の除雪であった。

◎町長 依頼では、屋根の雪下ろしと、落雪による出入り口付近の除雪であった。



取扱操作の徹底した安全性が求められる

委員、地域福祉協力員の方々としており、17区町内会と28区町内会で使用している。移動に使用する軽自動車から上げ下ろしに危険が伴うことから2人以上で作業するよう指導徹底していく。

狭い路地裏については状況把握し、適宜適切に排雪し、生活道路として確保に努める。また、土曜日曜等の問い合わせには、日直の職員などに委託路線網などで業者に連絡するよう対処し、今後説明不足等ないよう徹底したい。

地域活性化助成金については上積みは考えていない。

ないが、町で除雪対策本部等を立ち上げる段階においては検討しなければならぬと考えている。

協働の町づくりに アイデア懸賞を

問 「未来づくり協働プログラム事業」は言い換えると、たなぼた予算使い切りに動く町なのか、はたまた可能性を秘めた夢のある事業に挑戦していく町なのか、ある意味町の持つ底力を試される事にもつながると考える。

実現可能なアイデアに集中していくためにも、一般からの公募を募り、

町民を交えた審査会を設立といった考えはないか。

◎町長 事業についてはソフト・ハードは不問としており、また、複数年にわたる事業も可能となっている。

◎町長 提案する事業や住民や民間団体等の意見を反映させることから、審査会や懸賞等は考えていない。

図書館にこめる 当局的夢と可能性について

問 多くの町民からは、「図書館がよくなった」という声を聞く。細部に

わたり行き届いた心配りが町民に確実に届いている何よりの証しと受け止めていいのではないかと。

また、高齢化社会を乗り切る「創年づくり」の発想にも読書が支えになる。

今の維持管理の現状を堅持し、かつ更なる工夫を集中させることを多くの町民が望んでいることに對しては。

◎教育長 調べ学習ができる広いスペースを望んでおり、補助金活用申請のうちに役場内にある現在の図書館の移

動改築計画を何度か財政側と相談をしている。

また、臨時職員を小中学校図書館へも派遣し、小中学生の読書環境を整えている。

今年の1月から図書利用カードの発行を開始し、登録番号を記入するだけで貸出せる。図書館内の設置パソコンの活用により、蔵書の有無、貸し出し状況が検索できる。4月からは図書の返却が図書館閉館後も改善センターで本を返却できるサービスを開始する。



探しやすくなった蔵書棚



役立つ図書検索くん

平成24年 八郎瀉町議会 3月定例会提出議案

議案番号	審 議 案 件	結 果
発議第1号 発議第2号	八郎瀉町議会基本条例の制定について 八郎瀉町議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案について	原案可決 原案可決
議案第2号	平成23年度八郎瀉町一般会計補正予算(第7号)について	原案可決
議案第3号	平成23年度八郎瀉町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について	原案可決
議案第4号	平成23年度八郎瀉町公共下水道事業特別会計への繰り入れの補正について	原案可決
議案第5号	平成23年度八郎瀉町公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)について	原案可決
議案第6号	平成23年度八郎瀉町農業集落排水事業特別会計への繰り入れの補正について	原案可決
議案第7号	平成23年度八郎瀉町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)について	原案可決
議案第8号	平成23年度八郎瀉町介護保険特別会計補正予算(第5号)について	原案可決
議案第9号	平成23年度八郎瀉町上水道特別会計補正予算(第5号)について	原案可決
議案第10号	八郎瀉町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案について	原案可決
議案第11号	郎瀉町公民館条例の一部を改正する条例案について	原案可決
議案第12号	八郎瀉町立図書館設置条例の一部を改正する条例案について	原案可決
議案第13号	八郎瀉町介護保険条例の一部を改正する条例案について	原案可決
議案第14号	八郎瀉町暴力団排除条例の制定について	原案可決
議案第15号	八郎瀉町営住宅条例の一部を改正する条例案について	原案可決
議案第16号	八郎瀉町公共施設の指定管理者の議決を求めることについて	原案可決
議案第17号	町道路線の認定について	原案可決
議案第18号	平成24年度八郎瀉町一般会計予算について	原案可決
議案第19号	平成24年度八郎瀉町国民健康保険特別会計予算について	原案可決
議案第20号	平成24年度八郎瀉町後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決
議案第21号	平成24年度八郎瀉町公共下水道事業特別会計への繰り入れについて	原案可決
議案第22号	平成24年度八郎瀉町公共下水道事業特別会計予算について	原案可決
議案第23号	平成24年度八郎瀉町農業集落排水事業特別会計への繰り入れについて	原案可決
議案第24号	平成24年度八郎瀉町農業集落排水事業特別会計予算について	原案可決
議案第25号	平成24年度八郎瀉町介護保険特別会計予算について	原案可決
議案第26号	平成24年度八郎瀉町上水道特別会計予算について	原案可決
議案第27号	八郎瀉町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて(須田秀温氏)	原案同意
議案第28号	八郎瀉町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて(吉田義則氏)	原案同意

3月定例会

一般会計(第7号)補正予算は原案どおり可決されました。

―農地の区画整理、本暗渠などの推進
積立金3億9千万など―

主な内容

歳入歳出に4億5千902万5千円を追加、総額33億5千445万2千円

○歳入

地方交付税 2億6千502万3千円
国庫負担金 Δ320万4千円
(子ども手当)

農林水産業費国庫補助金 1億2千250万円

緊急雇用創出事業交付金 Δ287万4千円
財政調整基金繰入金 Δ4千万円

繰越金 1億409万7千円
後期高齢者医療広域連合返還金 833万3千円

○歳出

財政調整基金など積立金 3億9千486万2千円

国民健康保険繰出金 1千131万3千円
自立支援給付費 584万7千円
子ども手当 Δ788万7千円
法改正による

農業体質強化基盤整備促進事業補助金 1億2千250万円(繰越明許)

大由沢溜池補修事業負担金 144万円(繰越明許)
農地区画拡大など農地の高度利用事業

農村環境改善センター省エネ工事 Δ562万3千円 請負差額

湖東地区一部事務組合負担金 Δ789万8千円

全国小学生ソフトボール大会派遣費 44万3千円

公債費(元金・利子) Δ1千982万1千円
無利子振興資金による繰り上げ償還による

各常任委員会の審議

総務教育 常任委員会

H23年補正予算

問 地域活性化助成金は、22町内会からの申請だが周知方法は、また活用している町内会は増加しているのか。

答 周知方法は4月の町内会長会議、個別の説明で対応。申請件数は微増。

問 幼稚園の発電機購入が246千円減額補正で、改善センター省エネ改修工事が5,623千円の減額補正設計及び見積積算は適正か。

答 発電機は自衛隊納入価格での落札となり安価に。省エネ工事は、予定価格27,825千円、最低制限価格20,900千円での入札で、8社が入札に参加し21,945千円で落札。2社が最低制限価格を下回る。今後の省エネ関連工事の需要を見込み、実績を得るため落札価格が安価になったものと思われる。

問 生活バス路線維持費補助金が1,980千円の増額

問 小学校の体育館改修工事設計業務委託の考え方に

問 除雪に伴う時間単価やダンブ借上げ料について町民から多くの意見がある。また、作業に無駄がないよう職員が回って指示しなければならぬ。

問 高度浄水処理施設保守点検委託料は当初の契約に含まれているのではないかと。これは含まれていないか。

問 馬場目川の取水口近くにヘドロが溜まってきている。夏になればガスが湧いてきてアオコも出やすい。浚渫や攪拌してもらえないか、県に対し強く要望してもらいたい。

問 災害時要援護者交流会について、支援を受ける人と支援する人の交流会なのか。また、モデル町内をつくって周知を図ってはどうか。

答 秋田中央交通面湯線の費用で、乗車人数は1、2名程度。バス会社では平成25年3月末で廃止を検討中である。いずれ路線を維持するために町負担増であれば、廃止の方向で進むことになる。今後、本町・五城目町・バス会社で協議し、存続や廃止、代替え手段を検討する。

答 子育て支援として保護者の経済的負担軽減のため、全額助成するもの。八郎潟小学校・中学校に在籍し、かつ町内に住所を有する児童・生徒の保護者並びに町外の小・中学校等に在籍し、町内に住所を有する児童・生徒の保護者が助成対象で所得制限はなし。支給方法は学校長の代理受領の予定で、学校への振込み。未納費の納入計画を提出している。

答 単価を下げて台数を増やす方法もある。

答 23年度は支援者の情報交換会を行った。座談会で要援護者と交流を図りたいとの話があったため、24年度は要援護者を交えて交流会を行いたいと考えている。町内会長のみでなく福祉協力員も積極的な役割を果たしてくれればと思う。

答 21年度の耐震補強工事で外壁の改修を一部実施したが、老朽化に伴う小破修理が年々増加し、現段階で最低限の改修を要する部分について、全体的な改修計画を立てる必要があるため。

答 子育て支援として保護者の経済的負担軽減のため、全額助成するもの。八郎潟小学校・中学校に在籍し、かつ町内に住所を有する児童・生徒の保護者並びに町外の小・中学校等に在籍し、町内に住所を有する児童・生徒の保護者が助成対象で所得制限はなし。支給方法は学校長の代理受領の予定で、学校への振込み。未納費の納入計画を提出している。

問 戸舎耐震診断業務委託料の積算根拠と耐震業者の数は。また、診断中の職員の執務への影響はないか。

答 階数と面積を積算して、設計業者2社から見積もりをとり、安価な方で予算要求をしている。外見の腐食やひび割れなどが主な第1次診断で、外壁のコンクリートのコア抜き等の第2次診断を行い、その上で判断される。期間は半年程。業者は100社以上。建物内部の移動などはなく、庁舎内業務に影響はなし。

問 小学校の体育館改修工事設計業務委託の考え方に

答 23年度は支援者の情報交換会を行った。座談会で要援護者と交流を図りたいとの話があったため、24年度は要援護者を交えて交流会を行いたいと考えている。町内会長のみでなく福祉協力員も積極的な役割を果たしてくれればと思う。

答 21年度の耐震補強工事で外壁の改修を一部実施したが、老朽化に伴う小破修理が年々増加し、現段階で最低限の改修を要する部分について、全体的な改修計画を立てる必要があるため。

答 子育て支援として保護者の経済的負担軽減のため、全額助成するもの。八郎潟小学校・中学校に在籍し、かつ町内に住所を有する児童・生徒の保護者並びに町外の小・中学校等に在籍し、町内に住所を有する児童・生徒の保護者が助成対象で所得制限はなし。支給方法は学校長の代理受領の予定で、学校への振込み。未納費の納入計画を提出している。

問 除雪に伴う時間単価やダンブ借上げ料について町民から多くの意見がある。また、作業に無駄がないよう職員が回って指示しなければならぬ。

答 単価を下げて台数を増やす方法もある。

問 高度浄水処理施設保守点検委託料は当初の契約に含まれているのではないかと。これは含まれていないか。

問 馬場目川の取水口近くにヘドロが溜まってきている。夏になればガスが湧いてきてアオコも出やすい。浚渫や攪拌してもらえないか、県に対し強く要望してもらいたい。

問 災害時要援護者交流会について、支援を受ける人と支援する人の交流会なのか。また、モデル町内をつくって周知を図ってはどうか。

答 23年度は支援者の情報交換会を行った。座談会で要援護者と交流を図りたいとの話があったため、24年度は要援護者を交えて交流会を行いたいと考えている。町内会長のみでなく福祉協力員も積極的な役割を果たしてくれればと思う。

問 高度浄水処理施設保守点検委託料は当初の契約に含まれているのではないかと。これは含まれていないか。

問 馬場目川の取水口近くにヘドロが溜まってきている。夏になればガスが湧いてきてアオコも出やすい。浚渫や攪拌してもらえないか、県に対し強く要望してもらいたい。

問 災害時要援護者交流会について、支援を受ける人と支援する人の交流会なのか。また、モデル町内をつくって周知を図ってはどうか。

答 23年度は支援者の情報交換会を行った。座談会で要援護者と交流を図りたいとの話があったため、24年度は要援護者を交えて交流会を行いたいと考えている。町内会長のみでなく福祉協力員も積極的な役割を果たしてくれればと思う。

答 21年度の耐震補強工事で外壁の改修を一部実施したが、老朽化に伴う小破修理が年々増加し、現段階で最低限の改修を要する部分について、全体的な改修計画を立てる必要があるため。

答 子育て支援として保護者の経済的負担軽減のため、全額助成するもの。八郎潟小学校・中学校に在籍し、かつ町内に住所を有する児童・生徒の保護者並びに町外の小・中学校等に在籍し、町内に住所を有する児童・生徒の保護者が助成対象で所得制限はなし。支給方法は学校長の代理受領の予定で、学校への振込み。未納費の納入計画を提出している。

問 高度浄水処理施設保守点検委託料は当初の契約に含まれているのではないかと。これは含まれていないか。

問 馬場目川の取水口近くにヘドロが溜まってきている。夏になればガスが湧いてきてアオコも出やすい。浚渫や攪拌してもらえないか、県に対し強く要望してもらいたい。

問 災害時要援護者交流会について、支援を受ける人と支援する人の交流会なのか。また、モデル町内をつくって周知を図ってはどうか。

答 23年度は支援者の情報交換会を行った。座談会で要援護者と交流を図りたいとの話があったため、24年度は要援護者を交えて交流会を行いたいと考えている。町内会長のみでなく福祉協力員も積極的な役割を果たしてくれればと思う。

答 21年度の耐震補強工事で外壁の改修を一部実施したが、老朽化に伴う小破修理が年々増加し、現段階で最低限の改修を要する部分について、全体的な改修計画を立てる必要があるため。

答 子育て支援として保護者の経済的負担軽減のため、全額助成するもの。八郎潟小学校・中学校に在籍し、かつ町内に住所を有する児童・生徒の保護者並びに町外の小・中学校等に在籍し、町内に住所を有する児童・生徒の保護者が助成対象で所得制限はなし。支給方法は学校長の代理受領の予定で、学校への振込み。未納費の納入計画を提出している。

臨時会

豪雪により

除排雪関連予算を追加

追加

2月9日第1回臨時会

が開かれ、当初の予想を上回る降雪により予算に不足をきたす状況となったことから、除排雪関連予算が提案され、議案は全会一致可決されました。なお、12月から3月までの業者と交わっている契約に変更はありません。

○一般会計補正予算 (第1号)

歳入

前年度繰越金 5,138千円

歳出

燃料費 820千円

(車・ブル・ロータリー車など)

車借上料

4,318千円 (排雪用車)

* 広域組合議会報告

湖東地区 行政一部事務 組合議会定例会

3月22日定例議会を開催し、次の議案を全会一致で可決しました。

○平成24年度 一般会計予算

歳入・歳出

5億4千44万1千円
(前年度比0.94%の増)

歳入の概要

(構成市町の負担金等)

八郎潟町

1億3千992万円

井川町

1億2千52万8千円

潟上市

2億6千568万6千円

その他

1千430万7千円

歳出の概要

議会費

129万5千円

総務費

3千550万7千円

衛生費

1千797万3千円

消防費 4億7千331万2千円
公債費 1千155万4千円
予備費 80万円
となっておりあります。

八郎湖周辺清掃 事務組合 議会定例会

3月21日定例議会を開催し、次の議案を全会一致で可決しました。

○平成24年度 一般会計予算

歳入・歳出

5億2千816万5千円
(前年度比10%増)

歳入の概要

(構成市町村の負担金等)

八郎潟町

4千771万4千円

五城目町

6千985万4千円

井川町

4千354万9千円

大潟村

3千252万8千円

男鹿市 2億9千531万円
その他 3千921万円

歳出の概要

議会費 94万9千円

総務費

4千16万2千円

衛生費

3億2千19万9千円

公債費

1億6千585万5千円

予備費 100万円
となっておりあります。

災害がれき処理に関する 管理者説明の要約

組合と町内会役員で組織する廃棄物処理安全委員会及び住民・県が集まり1月、2月に勉強会を開いている。がれきを受け入れた場合、放射能汚染による健康被害の懸念や、農作物への風評被害等の意見が出された一方、被災地の復興支援に協力を見守る声もあった。これらの意見を踏まえ、組合議会で市町村長と災害がれきの受け入れについて協議した結果、

八郎潟町・井川町 衛生処理施設組合 議会定例会

3月23日、定例議会を開催し、次の議案を全会一致で可決しました。

○平成24年度 一般会計予算

歳入・歳出

4千970万1千円

歳入の概要

(構成町の負担金)

八郎潟町

2千524万7千円

井川町

2千162万2千円

歳出の概要

議会費 21万8千円

総務費 1千407万円

衛生費 3千441万3千円

予備費 100万円
となっておりあります。

国と県の対応を見定めながら、関係する皆様方と引き続き協議を行い、支援が可能な、最終的な判断をすることとした。

議員発議 (可決)

- 八郎潟町議会基本条例の制定について
一情報公開 議員賛否の公表 一問一答 反問権付与一
議会活性化の観点と議員の活動原則等の基本的事項を定め、町民の負託に応え、活力ある八郎潟町の実現を図るとともに、信頼される議会を築くことを決意し、本町議会の最高規範として基本条例を制定する。
- 八郎潟町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案について
現下の厳しい社会情勢や町民の意向を踏まえ、議員の報酬を、およそ13%減ずる。この報酬は明確に県内最低となる。また、会議などで支給されていた半額日当、一日日当の総てを廃止するための改正である。



平成23年度全国町村議会議長会
「自治功労者」表彰

在職年数 15年
八郎潟町 北嶋 賢子

議会改革特別委員会報告

より良い議会を目指して

議会改革特別委員会委員長 三戸 留吉

平成23年3月の定例会において、議員発議により設置された八郎潟町議会「議会改革特別委員会」は、八郎潟町議会基本条例制定にむけて情報公開、住民報告会、一問一答方式、町長の反問権などさまざまな課題を検討してきました。

さらには、議員定数、議員報酬、費用弁償なども協議の対象として検討し方向付けを致しました。また、議会委員会条例、議会広報条例、会議規則、傍聴規則なども検討し今後のあり方を決めております。

この検討にあたっては、議会初の試みとして町民アンケートを実施しました。1月初旬に全世帯2,496戸に配布し回収数は311通。回収率は12・5パーセントとなっております。

委員会は15回にわたり開催され、その結果八郎潟町議会として議会及び議員の活動原則等の基本的事項を定めた「八郎潟町議会基本条例」を発議することに致しました。また、議員報酬については現下の社会情勢や町民の意見を踏まえ13パーセントの減額を行うこととしました。議会・委員会出席の際

に支給されていた半日当は従来から廃止の意見もあり、検討の結果全日当も含めて全ての日当を廃止することにし、「八郎潟町議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例」の一部改正を発議することに致しました。なお、議員定数については現状のままとしました。

さらに、現在の常任委員会構成では、民生産業常任委員会がすべての特別会計を所管し審議が長引く状況にあるため、次期改選から総務産業、教育民生の各常任委員会とすることし平成24年12月議会に「八郎潟町議会委員会条例」の一部改正の発議を予定しております。議会広報編集委員は次期改選から2年交代することに決定いたしました。これについても平成24年12月議会に「八郎潟町議会広報発行に関する条例」の一部改正の発議を予定しております。

このたびの定例議会で制定された八郎潟町議会基本条例の要点は次のとおりです。



●八郎潟町議会基本条例の要点

項目	要 点
1. 情報公開 (第4条第1項)	議会は、議会の活動に関する情報公開を徹底するとともに、町民に対する説明責任を十分に果たさなければならない。
2. 住民報告会 (第4条第2項)	議会は、本会議のほか、常任委員会、全員協議会、特別委員会を原則公開するとともに、議会主催の報告会を開催するなど、町民が議会の活動に参加できるような措置を講じるものとする。
3. 議員間討論 (第3条第1項)	議員は、議会が言論の府であること及び合議制の機関であることを十分に認識し、議員相互間の自由な討議の推進を重んじなければならない。
4. 議員の議案賛否の公表 (第4条第5項)	議会は、議案に対する各議員の態度を議会広報で公表する等、議員の活動に対して町民の評価が的確になされるよう情報の提供に努めるものとする。
5. 一問一答方式 (第5条第1項)	議会の本会議における議員と町長及び執行機関の職員（以下「町長等」という。）の質問又は質疑並びに答弁は、一括質問一括答弁方式もしくは、一問一答の方式で行う。
6. 反問権 (第5条第2項)	議長から本会議及び特別委員会への出席を要請された町長等は、一問一答の方式による場合は、議員の質問に対して議長又は委員長の許可を得て反問することができる。

7. 議決事件の追加 (第8条第1項)	法律第96条第2項の議会の議決事項については、次のとおり定めるものとする。 (1) 八郎瀧町基本構想及び基本計画 (2) 八郎瀧町地域防災計画 (3) 八郎瀧町環境基本計画
8. 法・条例等に規定されているもの以外の委員等への就任などの検討	・現状どおりとしました。

※八郎瀧町議会基本条例は町のホームページでご覧になれます。

議会改革特別委員会の報告

第13回委員会 2月8日(水) 午前9時から 議会第二委員会室

設問 基本条例案について

意見の要約 ○今までの話し合いと町民アンケートの結果を踏まえ、議会基本条例の前文及び各条文について逐条審議、条文の最終調整に入った。本基本条例は7章で構成され18条ほどとなる見込みである。24年4月1日執行を目指す。

設問 費用弁償関係条例について

意見の要約 ○いままで議員には、議会に招集された場合と公務のための県内出張の際、半日当(900円)と県外出張の際の一日日当(1,800円)が支給されている。本町議会はこの日当をすべて廃止する方針です。

設問 町民アンケートについて

意見の要約 ○全世帯に配布されたアンケートは回収311枚、各設問のデータがまとまり貴重な資料となりました。改革委員会ではこの状況を確認しました。この貴重な町民の声を今後の議会改革、議会活性化に活かされる事が期待される。

設問 報酬について

意見の要約 ○現在の月額報酬は214,000円、何度も議論を重ねた結果、現在額から10~16%減額の話合いとなり、折中案13%減額の方向。この額は明確に県内最低となる。現在の報酬総額を定数2人増の14人にした場合の削減率マイナス16パーセントをおおよその目安として検討した。

参考までにアンケート結果では 今のままでいい—48% (149人) 高いと思う—45% (139人)

設問 定数について

意見の要約 ○本町の定数は12人、現在の議会の全体運営、委員会運営を考えれば少なくとも現状を維持したいとの意見が大多数。現状維持の方向である。

参考までにアンケート結果では 今のままでいい—55% (171人) 多いと思う—33% (104人)

第14回委員会 2月16日(木) 午前9時から 議会第二委員会室

話し合いの概要

基本条例案文、報酬・費用弁償条例改正案の最終確認及び特別委員会の議長に対する報告書案について全委員で確認し、若干の手直し修正をした。町民アンケートは3月議会広報で報告する。

基本条例の制定に関連し議会会議規則の一部改正が必要であり、次回に検討することとした。傍聴人取締規則についても検討する。

第15回委員会 2月24日(金) 午前9時から 議会第二委員会室

話し合いの概要

議会会議規則、傍聴人取締規則について検討、調整。特別委員会の議長に対する報告書案、3月議会提出議員発議議案についても確認した。また、一問一答方式による質問も実施することになることから、具体的な進め方について要綱を定めることにした。

委員会の審議 本日を持って予定された委員会審議は終了しました。

委員会の傍聴 開催中委員会の傍聴者はありませんでした。

「八郎潟町議会改革」の推進に関する町民意識アンケート調査

平成18年5月、北海道栗山町議会が町民の町政参加を促し、住民自治の確立と議会の活性化を目指した「議会基本条例」を全国に先駆けて制定した。

以来、全国にその波紋を広げ、東北の市町村では会津若松市、一関市、松島町がその先例となっている。

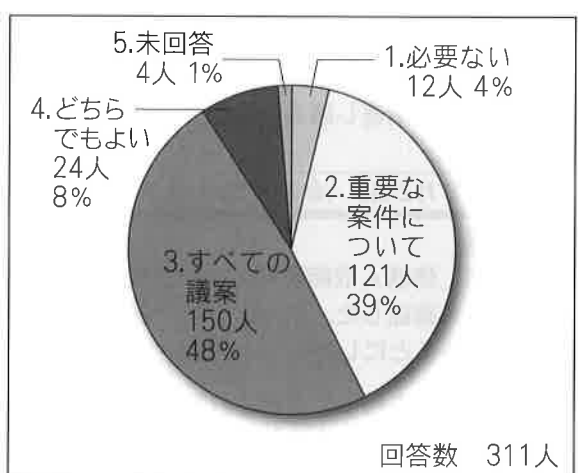
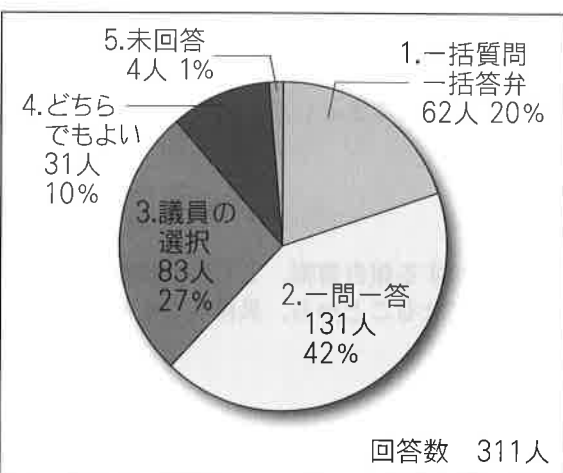
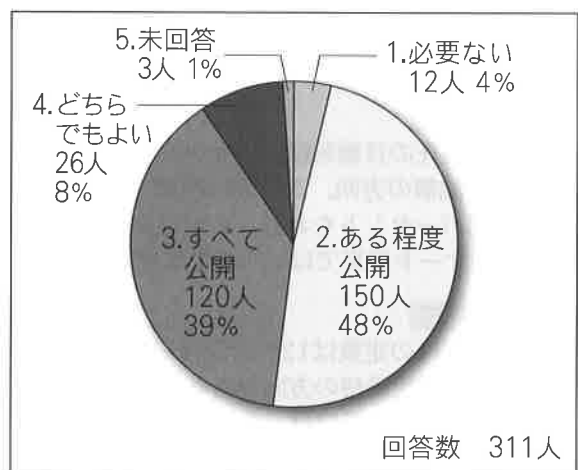
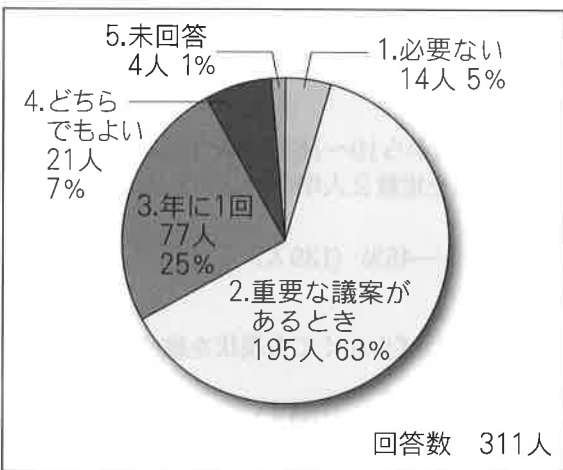
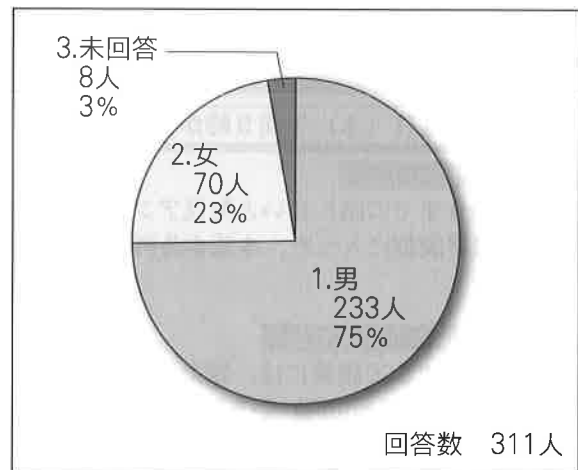
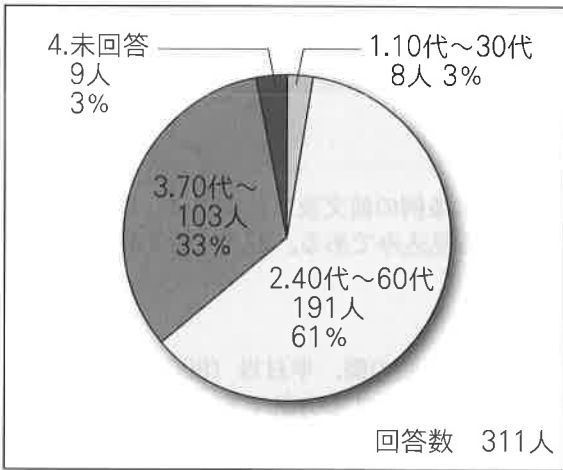
県内では、藤里町を皮切りに、小坂町、仙北市、大潟村、鹿角市、にかほ市、大仙市、横手市と続き、本町も新年度からの制定・施行を目指し、平成23年3月定例議会において、全議員による議会改革特別委員会を設置いたしました。

以来、15回にわたり精力的に協議を重ね、この3月定例議会において制定に至りました。

この間、町民の意向を反映させるため、この1月に全世帯による町民意識アンケート調査を実施し、2,496戸のうち、311名の方から貴重なご意見をいただくことができました。町民の皆様のご協力に、心から感謝を申し上げます。

特別委員会と致しましても、皆様のご意向を充分にふまえ、その反映に努めました。

以下、アンケート結果をお知らせいたします。



あなたの年代をお答えください。

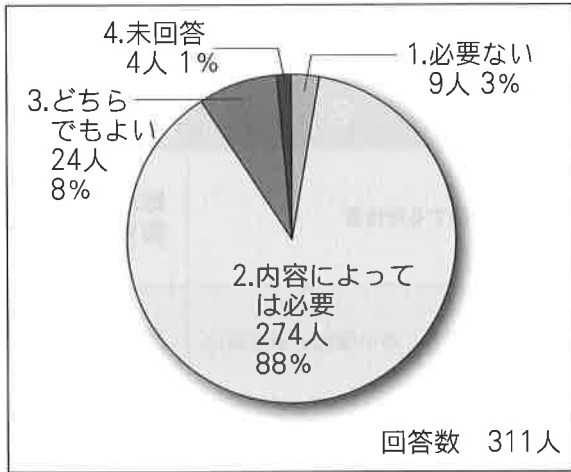
あなたの性別をお答えください。

本会議や委員会の議事録を町の施設やインターネットで自由に見られるようにするなど情報の公開をすすめることについてどう思いますか。

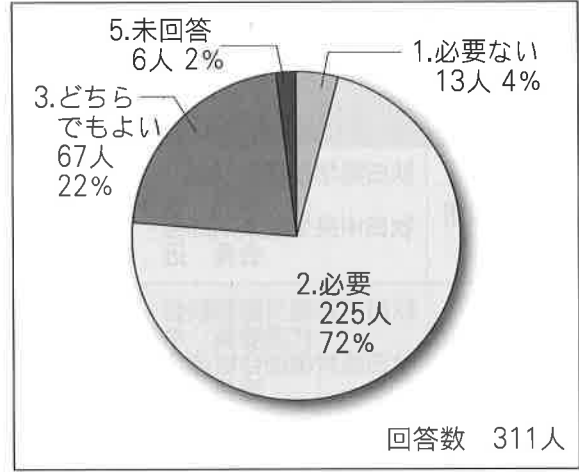
本会議や委員会の議事録を町の施設やインターネットで自由に見られるようにするなど情報の公開をすすめることについてどう思いますか。

いまの質問形式は、数項目を一括質問して一括答弁するやり方ですが、一問一答方式についてどう思いますか。

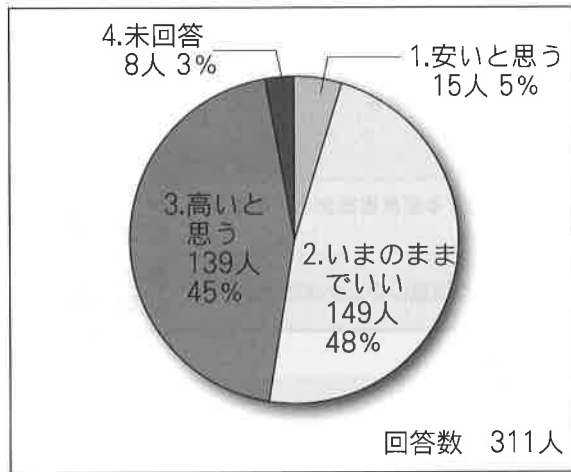
議案の賛成、反対を議員がどう判断したかを知るため、議員の議案賛否を公表することについてどう思いますか。



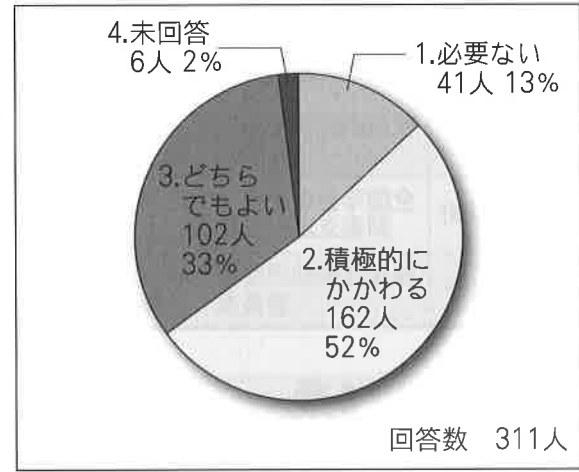
法律によって議事が議決することが決められている事項以外に、八郎潟町議会が独自に議決する案件を定めることができます。議決事件の追加についてどう思いますか。



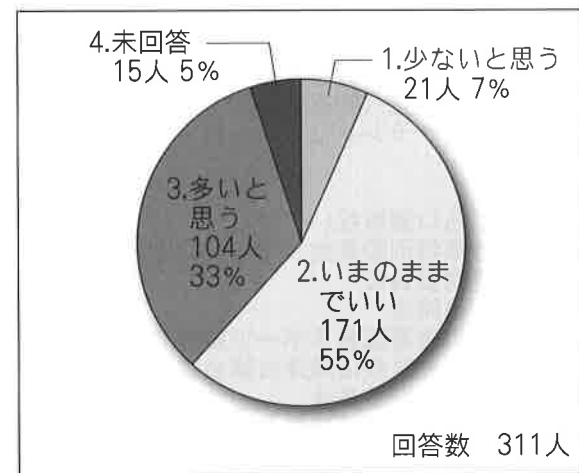
一般質問の内容に町長は反問することはできません。一問一答方式にした場合、質問者に対して町長が質問の趣旨や根拠を聞きだす反問権をつけることについてどう思いますか。



八郎潟町議員の報酬額についてどう思いますか。



法律や条例の規定で議員が各種委員に就任することがありますが、規定されていなくても当局の委嘱によって各種協議会審議会等に議員が参画することについてどう思いますか。



八郎潟町議会の議員数についてどう思いますか。

以上、11項目の集計結果のほか、設問を補完する内容の意見が大多数でしたが、全部で86件寄せられました。そのうち、報酬に関する意見が27件、定数に関する意見が23件、計50件でこの問題に対する関心の高さを示している。

協議の結果

○報酬については

①現在の厳しい経済情勢と町財政状況

②議員活動は、議会や会議及び各種行事に出席するだけではない。

③アンケートの結果、

イ・いまのままでいい 48%

ロ・高いと思う 45%

等を考慮し、減額することと致しました。

削減幅は、マイナス10パーセントの案と現在の報酬総額を定数2人増の14人にした場合の削減率マイナス16パーセント、の案が提案され、平均のマイナス13パーセントにすることと致しました。

○定数については

①現状の12名よりの削減は、議会構成面で無理がある。(すでに常任委員会↓2常任委員会となっている)

②二元代表制としての、行政への監視機能を十分に果たすためには、一定の議員数が必要である。

③アンケートの結果、

イ・いまのままでいい 55%

ロ・多いと思う 33%

等を考慮し、現議員数12名と致しました。

このたびの議会改革に対しての、町民のご協力に重ねて感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご鞭撻、ご指導を賜りますよう、お願いいたします。



■ 請願・陳情

受理番号	件名	住所	氏名	件名	付託委員会	本会議果
1	陳情	秋田市	秋田県学校薬剤師会 会長 佐々木 吉 幸 秋田中央学校薬剤師会 会長 近 藤 廣 樹	学校薬剤師報酬改善に関する陳情書	総務教育	不採択
2	陳情	秋田市	秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 中 村 秀 也 秋田県労働組合総連合 議長 佐々木 章	最低賃金の大幅引き上げと、中小零細企業支援の拡充を求める陳情書	民生産業	採 択
3	陳情	横手市	日本自治体労働組合連合 秋田県本部 中央執行委員長 星 野 博 之	子ども・子育て新システムの導入に反対し、現行保育制度の拡充を求める意見書 提出を求める陳情書	民生産業	採 択
4	陳情	秋田市	秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 中 村 秀 也 秋田県労働組合総連合 議長 佐々木 章 秋田県国家公務員労働組合共闘会議 議長 藤 田 哲 也	住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める陳情書	総務教育	採 択
5	陳情	八郎潟町	全国年金者組合 秋田県本部 湖東支部 支部長 土 橋 茂	公的年金の改悪に反対する意見書提出を求める陳情書	民生産業	採 択
6	請願	秋田市	農民運動秋田県連合会 委員長 佐藤 長右衛門	T P P 交渉参加に向けた協議の中止を求める請願	民生産業	採 択



議会のうごき

1 月

- 4日 消防出初式
- 6日 湖東3町商工会新春賀詞交歓会
- 9日 例月出納検査(監査委員)
- 21日 八郎潟町ランドゴルフ協会定期総会(議長)

2 月

- 4日 合同厄払い還暦祝い(議長)
- 8日 議会改革特別委員会
- 9日 議会運営委員会
第1回臨時会
- 12日 八郎潟町体育協会スポーツ賞授与式(議長)
- 13日 後期高齢者医療広域連合議会定例会(議長)
- 16日 議会改革特別委員会
- 17日 例月出納検査(監査委員)
- 19日 八郎潟町ボランティア大会
- 24日 秋田県町村議会議長会自治功労者表彰式(議長)
- " 理事会(議長)

- 24日 議会改革特別委員会
- 28日 議会運営委員会/議会広報編集委員会

3 月

- 1日 湖東総合病院運営委員会・改築推進協議会(議長)
- 6日 3月定例会(16日まで)
- 8日 八郎潟中学校卒業証書授与式
- 13日 八郎潟幼稚園卒園式
議会広報編集委員会
- 15日 八郎潟小学校卒業証書授与式
- 21日 八郎湖周辺清掃事務組合議会
議会広報編集委員会
- 22日 湖東地区行政一部事務組合議会
- 23日 八郎潟町・井川町衛生処理施設組合議会
例月出納検査(監査委員)
- 24日 八郎潟保育園卒園式
町民座談会
- 26日 議会広報編集委員会
- 28日 南秋田郡町村議会議長連絡協議会(議長)



◆ 議会広報編集委員会
委員長 北 嶋 賢 子
副委員長 菊 地 文 人
委員 近 藤 美 喜 雄
小 山 金 美
三 戸 留 吉

ようやく春らしくなり山形県長井市の従兄弟から、けいおう桜の東が届きました。東日本大震災、原発関連死となった、義理の母を憂い、桜の花でねぎらう思いやりがとても嬉しかった。昨年は早々と根雪になったが為に未収穫となった辛味だいこんが、ふきのとうと共に顔を出した。放射能の心配の無い大地に、今年もたくさんの花と野菜の種子を蒔きます。
(けん子)



編集後記